

学習指導資料

「学習評価の事例集」（宮城県版）

高等学校

第2編（各教科）

看護

令和4年1月

宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

石巻市教育委員会

## <各事例概要一覧と事例>

(P. 2～5)

### 事例1 キーワード 観点別評価方法の検討

科目 健康支援と社会保障制度（公衆衛生） 「公衆衛生の概念・ヘルスプロモーション」

本事例は、「健康支援と社会保障制度」の中の（1）公衆衛生について取り上げ、三つの観点別の評価方法を検討したものである。

公衆衛生の単元では、集団を対象として疾病を予防し、健康の保持増進を図る看護活動の学習を通して、生活環境や生活行動と健康の関連を理解し、多様な生活背景をもつ人々が適切に健康管理を行うために必要とされる基本的な支援を行うことができるようにすることをねらいとしている。

本単元では公衆衛生の基本について、自らの健康観を養い、医療者としての倫理観をもって、対象である人々への援助を考え実践できる人材の育成を目指している。高校生である自らの健康について考えると共に、周囲の人々の健康を考察し、そこから今後関わる対象の健康への学習を深める内容としている。

評価については、定期考査や小テスト、グループワークでの発言や取組など様々な場面で行うこととし、三つの観点でバランス良く評価することを目指した取組例となっている。

看護科 「健康支援と社会保障制度（公衆衛生）」  
 キーワード 観点別評価の方法の検討

単元名  
 公衆衛生の概念・ヘルスプロモーション

〔指導項目〕  
 (1) 公衆衛生  
 ア 公衆衛生の基本

### 1 単元の目標

- (1) 公衆衛生の概念とヘルスプロモーションについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
- (2) 公衆衛生の概念とヘルスプロモーションについて基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見いだすこと。
- (3) 公衆衛生の概念とヘルスプロモーションについて自ら学び、対象となる人々による健康管理を目指して主体的かつ協働的に取り組むこと。

### 2 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公衆衛生の概念とヘルスプロモーションについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	公衆衛生の概念とヘルスプロモーションについて基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決策を見いだしている。	公衆衛生の概念とヘルスプロモーションについて自ら学び、対象となる人々による健康管理を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

### 3 指導と評価の計画（3時間）

時間	【ねらい】・学習活動	評価		備考（評価規準・ <span style="border: 1px solid black;">評価方法</span> ）
		観 点	記 録	
1	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">           ねらい【公衆衛生におけるヘルスプロモーションの位置づけと、わが国におけるヘルスプロモーションの歴史について理解する】         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィンズローによる公衆衛生の定義について読み解く。</li> <li>・ヘルスプロモーションとは何かについて考察する。</li> <li>・ヘルスプロモーションに関する国際会議のうち主要なものの内容を簡潔にまとめる。</li> </ul>	知	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生の定義を理解し、要点をワークシートにまとめることができる。</li> <li>・健康の捉え方やそこに向かう方法について理解し、整理することができる。</li> </ul> <div style="margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワークシート①</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小テスト</span>    <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">定期考査</span> </div>
			○	

	<p style="text-align: center;"><b>ねらい【健康日本21（第2次）の概念図を用いて、現在の日本人が抱える健康課題について考える】</b></p> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「21世紀における国民健康づくり運動」が日本のヘルスプロモーション政策の柱であることを理解する。</li> <li>・健康日本21の概念図から推進されている5つの事項について、具体的にどのような内容であるのかを考察する。</li> <li>・上記を用いてグループで発表しながら思考を深める。</li> </ul>	<p>知</p> <p>思</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ・日本のヘルスプロモーション政策について理解する。 <b>ワークシート①</b> <b>定期考査</b></li> <li>○ ・各自が捉える健康寿命について、思考を深め、ワークシートにまとめる。</li> <li>○ ・概念図の中に、実際にどのような取り組みがあるかを考え、表現することができる。</li> <li>・グループでの話し合いで、各自が考えた内容について検討し合うことができる。</li> </ul> <p><b>ワークシート①</b> <b>観察</b> <b>定期考査</b></p>
	<p style="text-align: center;"><b>ねらい【ヘルスプロモーションの目標実現のための活動方法を個人及び集団について検討する】</b></p> <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オタワ憲章で掲げている、具体的活動の5領域について、個人と集団それぞれの活動を考える。</li> <li>※ヘルスプロモーション活動推進のためには、個人の努力と社会全体の責任という両方の視点が重要であることを意識しながら学習する。</li> <li>・医療者として対象のヘルスプロモーションにどのように関わっていくべきかを考察する。</li> <li>・グループで各自が考察した内容について共有し合い、他者の意見からより深く学ぶようにする。</li> </ul>	<p>思</p> <p>態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ・5つの領域に関する個人と集団の活動を考え、まとめることができる。</li> <li>○ ・活動に関わる人々について考え、まとめることができる。</li> </ul> <p><b>ワークシート②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ・グループワークについて役割を決めて主体的に活動できる。</li> <li>・要点をまとめ、発表に意欲的に取り組むことができる。</li> </ul> <p><b>ワークシート②</b> <b>発表</b> <b>観察</b> <b>自己評価</b></p>

#### 4 観点別評価の進め方

本単元では公衆衛生の基本について、自らの健康観を養い、医療者としての倫理観をもって、対象である人々への援助を考え実践できる人材の育成を目指している。高校生である自らの健康について考えると共に、周囲の人々の健康を考察し、そこから今後関わる対象の健康への学習を深める内容としている。

##### (1) 知識・技術

公衆衛生の位置づけと、定義、国際的な流れとわが国のヘルスプロモーションに対する取組の基礎的な知識について、小テスト及び定期考査などで評価していく。

「おおむね満足できる」状況 (B)	「十分満足できる」状況 (A) にあると判断するポイント	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への手立て
公衆衛生の定義について理解し、ヘルスプロモーションとの関連について理解したことを発言したりまとめたりできる。	国際的なヘルスプロモーションに関する歴史や、わが国における具体的事例についても理解している。	健康の概念について話し合いながら、ヘルスプロモーションについての意識を形成していく。

##### (2) 思考・判断・表現

ヘルスプロモーションで掲げている5つの事項について、身近な事柄から社会の情勢についてまで考えられているかを、グループワークでの言動の観察、ワークシート及び定期考査などで評価していく。

「おおむね満足できる」状況 (B)	「十分満足できる」状況 (A) にあると判断するポイント	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への手立て
5つの事項に関して、自分の身近な事柄から社会の課題を発見することができる。	身近な事柄から社会の課題を発見し、予防活動を集団的努力で行うことの具体的対策について考察することができる。	自分の周囲で行われる実例などを提示し、ヘルスプロモーションとの関連を意識付ける。

##### (3) 主体的に学習に取り組む態度

ヘルスプロモーション活動推進のための個人や集団での行動、そこへの自らの関わりについてもどのように参画すべきか考察したことを、グループワークの言動、ワークシートなどで評価していく。

「おおむね満足できる」状況 (B)	「十分満足できる」状況 (A) にあると判断するポイント	「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒への手立て
ヘルスプロモーション活動について、自身がどのように関わっていくべきかという課題に対しての学習活動に主体的に取り組もうとしている。	課題の中に医療者としての自覚を持ち、学習活動を調整しながら進め、粘り強く取り組んでいる。	自らが目指している医療者としての意識を再確認し、対象との関わりにおいて大切な概念であることを説明する。

ワークシートの具体例（ワークシート①）

1年7組 ○番 氏名 ○ ○ ○ ○

下の図の②から⑤の口の中に、それぞれの具体的活動例を身の回りの事例から書き出してみよう。

健康日本21（第2次）の概念図

全ての国民が共に支え合い、健やかに心豊かに生活できる活力ある社会の実現



**【看護部会作成委員】**

熊谷	直美	宮城県教育庁高校教育課指導主事
菊田	ゆか	宮城県白石高等学校教諭
石川	幸枝	宮城県白石高等学校教諭
小池	陽子	宮城県白石高等学校教諭
松本	和歌子	宮城県白石高等学校教諭